

患者の皆様へ

2018 年 2 月 14 日

乳腺・甲状腺外科

現在、乳腺・甲状腺外科では、「日本人の乳癌薬物治療における内臓型肥満とインスリン耐性、慢性炎症の影響」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究で 2004 年から 2016 年に当院で手術された乳癌患者さまの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「日本人の乳癌薬物治療における内臓型肥満とインスリン耐性、慢性炎症の影響」

2. 研究の意義・目的

本研究は日本人の乳癌患者において、内臓型肥満（内臓肥満の量が基準値より多い体型）がインスリン抵抗性や慢性炎症とどのように関係するかを調査するものです。インスリン抵抗性や慢性炎症は乳癌の発生の原因だけではなく、薬物治療の効果を減少させる事が報告されています。この研究により、日本人特有の内臓型肥満が、がんの進展にどのように影響するか明らかになることが期待されます。

3. 研究の方法

カルテに記載されている診療情報の他、初診時に行った CT 検査、採血検体、および手術で採取された乳癌組織検体を用いて研究が行われます。この研究の為に、対象となる患者様に追加で必要となる検査はありません。

研究期間は、2018 年の倫理審査委員会承認後から 2019 年 3 月末日までを予定しています。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者様の氏名などは一切公表しません。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる場所で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、データが匿名化され、解析される前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて
揭示を行っています。

研究責任者 : 千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学 教授 大塚将之
〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
電話 : 043-222-7171 内線 5282

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学

本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院 乳腺・甲状腺外科
長嶋健、三階貴史
電話 : 043-222-7171 内線 5282